



## 農山村の地域資源を次世代に

# 『都市と農山村をつなぐボランティア活動』

企業との協働活動

# とちぎ夢大地応援団

企業との協働によるとちぎ夢大地応援団が3月8日、栃木市大柿地区で行われました。

大柿地区は、美しい里山を活用して都市住民との交流を予定しています。今回は里山を快適に散歩するための遊歩道づくりを行いました。

参加したのは鹿沼市にある企業・デクセリアルズ(株)の皆さんで、一般の夢大地応援団員や地元の人たちと一緒に、遊歩道へのチップ敷きやゴミ拾いを行いました。林業ボランティアを続けてきたデクセリアルズの皆さんは、間伐材を破碎するチップパーを自ら持ち込み、慣れた手つきで作業を行い、約150mの遊歩道にチップを敷き詰めました。



間伐材を破碎するチップパー



家族での参加者はゴミ集めをやりました

はばたけ夢大地

第18号 2015/3

とちぎ夢大地応援団事務局  
(公財)栃木県農業振興公社  
栃木県農政部農村振興課

# — 平成26年度 とちぎ夢大地応援団活動の紹介 —

## 柴田保全会

(佐野市 多田地区)



柴田地区は昨年から耕作放棄地の解消に取り組んでいます。

今回は、将来の作付けに向け、土で埋まってしまった水路の堀ざらいを、応援団員17名と地元・関係者20名が参加して、ぬかる足場に悪戦苦闘しながら行い、水が流れるようになりました。



## 土呂部自治会

(日光市 土呂部地区)



栃木の秘境「土呂部」地区は、標高925mに位置する高原の集落です。

今回は、応援団員14名、地元・関係者36名で、耕作放棄地の草刈りを行いました。

約3時間にわたる作業で、耕作放棄地の解消とともに、美しい景観が復活しました。



## 和田用水

### ホタルの里の会

(鹿沼市 中粕尾地区)



中粕尾地区は、ホタルが生息する農業用水路を拠点に、都市住民との交流に取り組んでいます。

夢大地応援団関係者30名、地元子供会やホタルの里関係者など総勢80名が参加して、ホタル生息地の水路清掃（外来植物コカナダモの除去）および水路脇の休耕田へ小松菜の種まきを行いました。また生き物観察も行われ、子供たちが採集した生き物のなかに清流の証明・ヤツメウナギが何匹も採集されました。



## 里山大木須を愛する会 10月19日 実施 (那須烏山市 大木須地区)

大木須地区は、那須烏山市東部に位置する昔ながらの里山の景色を有する地域で、オオムラサキやホタル等の地域資源を活用し都市住民との交流を図っています。

今回は夢大地応援団員32名、地元里山大木須を愛する会の会員20名が参加して、地区内の遊休農地3カ所、約80aの草刈りに汗を流しました。



草刈りに汗を流す応援団員



5月オープン予定の古民家

## 柴田保全会 11月1日 実施 (佐野市 多田地区)

春の土水路の堀ざらい作業に続き、今回は耕作放棄地の草刈りを約2.5ha行いました。

背の高さ以上ある雑草の草刈りを、応援団員16名と地元会員9名で行いました。

今後の農地利用法については、保全会を中心に検討していく予定です。



草刈りのようす



きれいに刈り払われました

## 大柿の郷をまもる会 11月2日 実施 (栃木市 大柿地区)

大柿地区は、集落をヒガンバナの花でいっぱいにして、都市住民の方に来訪してもらう活動を行っています。

今回は、応援団員25名、地元会員10名が近くの畑に群生しているヒガンバナの球根をスコップで掘り取り、近くの土手や道路脇に移植しました。



球根の掘り起こし



土手へ植え付け

## 国見棚田保全組合 (那須烏山市 国見地区)

11月8日  
実施

日本の棚田百選に認定されている国見地区の活動が応援団員・関係者35名、地元自治会員21名が参加して開かれ、棚田周辺の草刈りを行いました。

国見地区は高齢化が進み、棚田の管理が年々難しくなっている状況です。

今回は、応援団員が棚田周辺の急傾斜地の草刈りを行い、美しい棚田の風景を維持しました。



## 虹色の里あじ彩協議会 (茂木町 河又地区)

11月22日  
実施

河又地区は、農村レストラン「虹色の里あじ彩」を拠点に都市住民との交流に取り組んでいます。

今回は、交流を行っている宇都宮市の保育園児が安全・快適に里山を散策するための遊歩道づくりを、応援団員28名と地元関係者9名で行いました。内容は、間伐した丸太を使って勾配の急な斜面に階段を設けたり橋を架ける作業を行いました。



# とちぎ夢大地応援団募集

(A会員の募集)

とちぎの農山村に積極的に出向き、農地保全のボランティアとして活躍して頂く、A会員の募集をおこなっています。

申込先 とちぎ夢大地応援団事務局まで

## — カレッジ活動 —

### 第3回活動報告 「佐野市上仙波地区」 H26・12・13(土)

第3回とちぎ夢大地応援団カレッジ活動が12月13日、佐野市上仙波地区で足利短期大学の学生やとちぎ夢大地応援団員、関係者ら19名が参加して行われました。

今回のカレッジには、足利短大のこども学科1年生で大田原市須賀川の第1回カレッジ、栃木市大柿の第2回カレッジに参加した学生の中から7名と同短大の教職員3名、鳥獣管理士の資格を持つ夢大地応援団員らが参加して、里山と集落の境界部にシカ侵入防止用のメッシュフェンスを張るといふかなりハードな作業に取り組み、約200mにわたって柵を設置しました。

カレッジ活動を受け入れた仙波地区むらづくり推進協議会の野部利司会長は「高齢化のなか若い人の支援はうれしい。活動を通して中山間地域の問題に関心を持ってほしい」と話していました。また参加した学生は「力仕事だったが、ふだんできない体験ができ、楽しかった」とボランティアの喜びを語っていました。



自分たちが設置したシカ侵入防止柵の前で記念撮影



まずは約2m四方のワイヤーメッシュ柵を設置場所まで運搬



柵の設置場所はこんな所（この辺は条件の良い所）



野部会長（右手前）の指導を受けながら鉄筋の支柱とフェンスを結束する学生



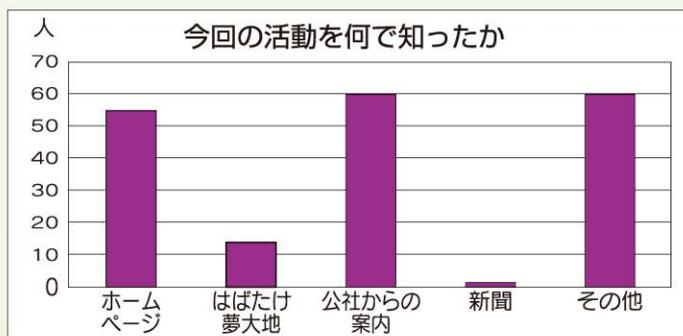
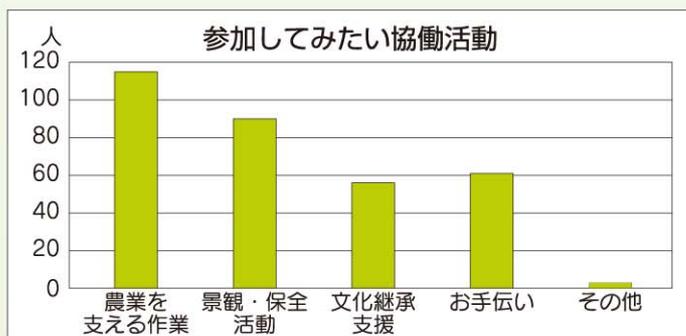
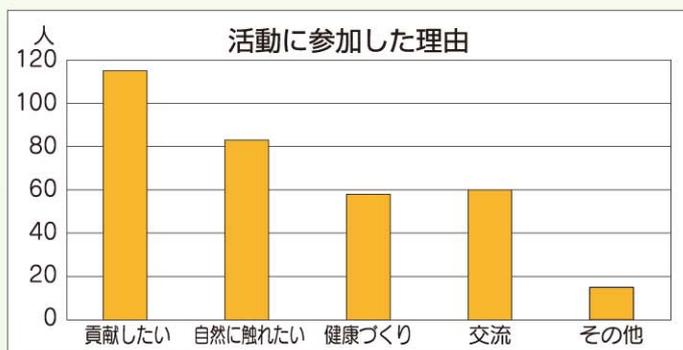
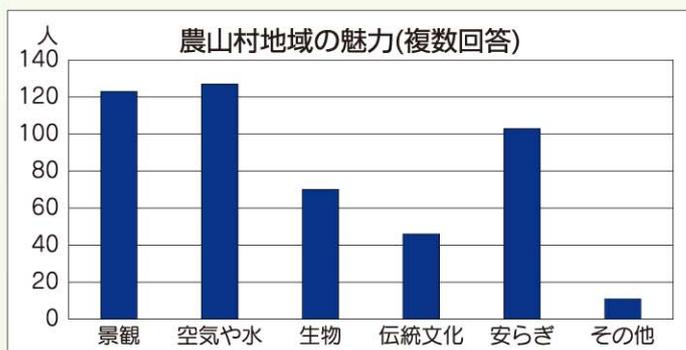
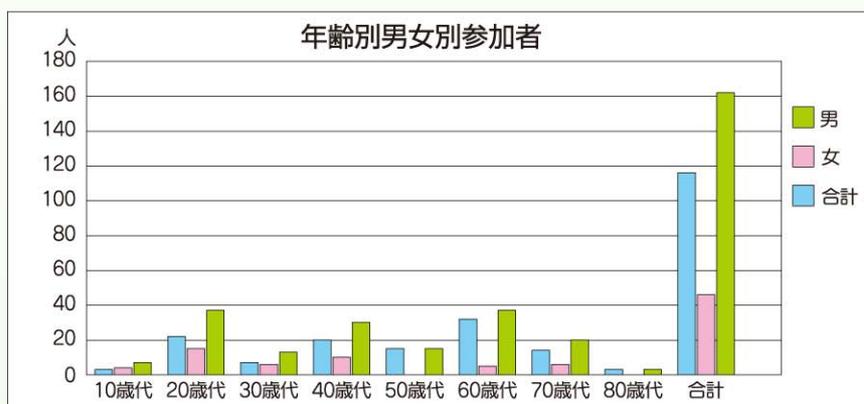
午前中2時間、午後2時間の作業で約200mの柵を設置しました

## — アンケート調査 ご協力ありがとうございました —

平成26年度の夢大地応援団活動時に162名のボランティアの方々からアンケート調査に御協力をいただきました。アンケート集計の結果は下記のグラフのとおりです。

参加者の年齢は20歳、60歳代が同数で最も多く、次に40歳代の順で、10代の参加者も8名いました。「農山村地域の魅力は」の問いには「きれいな空気や水を感じる」、「美しい景観をみることができる」、「心のやすらぎを感じる」の順でした。「ボランティア活動に参加した理由」では、「農村の環境保全に貢献したい」が最も多く、次に「自然に触れたい」、「同志と交流ができる」の順でした。「参加してみたい協働活動」は、「農業を支えるための水路清掃や耕作放棄地の刈払い作業」(115名)、「農山村の景観向上やホテルの保護等の生態系保全活動」(90名)を希望されています。

今後も活動への参加よろしくをお願いします。



◎活動の詳細は農業振興公社ホームページ(とちぎ夢大地応援団の案内)でご覧ください。

◎とちぎ夢大地応援団活動は、県と農業振興公社が募集・活動の支援を行っています。

### とちぎ夢大地応援団事務局

(公財) 栃木県農業振興公社

栃木県農政部農村振興課  
中山間地域担当

<http://www.tochigi-agri.or.jp/yumedaichiouendan/index>

〒320-0047 宇都宮市一の沢2-2-13  
TEL 028-648-9515 FAX 028-648-9517  
〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20  
TEL 028-623-2334 FAX 028-623-2337

とちぎ夢大地応援団

